

部局名	生涯学習部	所属名	青少年課	所属長名	須田 早苗	電 話	481-0306
-----	-------	-----	------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3994		事務事業名称	青少年交流事業					短縮コード	経常	3994	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	青少年対策費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		・八千代市補助金等交付規則・釧路市・八千代市少年少女スポーツ交流事業補助金交付要綱						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
ブロンズ像友好釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会は、市民が村上橋ブロンズ像設置運動を展開する際、釧路市の幣舞橋ブロンズ像設置の市民運動の経験を参考にさせてもらったことがきっかけで昭和５７年に始まった。当初は少年野球のみの交流であったが、昭和５９年にサッカー、平成１４年度からはミニバスケットボールの種目加わり、現在３種目の大会となっている。平成19年度で第26回を迎えた。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 実行委員会を立ち上げ、大会を行っている。平成20年度は、実行委員会 は従前通り組織するが、大会業務の実務は(財)八千代市文化・スポーツ 振興財団（以下「財団」という。）に委託する。今後は支援の方法につ いて検討していく必要がある。					総 合 計 画 の 施 策 体 系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
						大項目（節）	03	青少年健全育成					
						中 項 目	01	青少年健全育成					
						小項目（施策）	02	青少年健全育成事業の推進					
細 項 目	01	学習機会の充実											
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内の小学５・６年生							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： ○ブロンズ像友好釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会 北海道釧路市から少年野球2チーム、少年サッカー1チーム、ミニバスケットボール男女各1チームを招待し、交歓試合や交流会などを行った実行委員会（少年野球連盟・サッカー協会・バスケットボール協会で組織）に補助金を交付し、大会開催を支援した。							
	※平成20年度に計画していること： ○ブロンズ像友好釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会 北海道釧路市へ少年野球2チーム、少年サッカー1チーム、ミニバスケットボール男女各1チームを派遣し、交歓試合や交流会などを行う実行委員会（少年野球連盟・サッカー協会・バスケットボール協会で組織）に補助金を交付し、大会開催を支援する。また、大会業務の実務は財団に委託する。							
意図 （何を狙っているのか）	スポーツを通して他市の子どもたちと交流することにより、判断力，行動力を持った健全な青少年が育成され，次世代の指導者養成にも繋がる。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市内小学５・６年生の児童数	人	3,611	3,611	3,737	3,737	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会補助金額	千円	2,300	1,800	1,800	2,000	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会の参加者数	人	93	100	109	105	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3994	事務事業名称	青少年交流事業				所属名	青少年課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			大会そのものは、今後も現状のまま継続し、事業の実務は財団に委託し、財団が主体となっ て行う。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止							
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業実務の委託により、経費（人件費）削減が期待できる。ただし、市どうしの交流から始まったという経緯もあるので、その担当課としての業務は残るため、全部を削減することはできない。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☐			
		不 変	☒	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
なし									

所属長コメント	スポーツ活動は単に体力を養うだけでなく、生涯を通じてのスポーツ活動の基礎を培う上で重要であり、広く人間形成の上においても役立つといわれている。スポーツを愛好する子どもたちが、このスポーツ交歓大会を通じて友情を深めたり、自然や習慣の違いに触れるなどの体験活動により、集団活動への意欲を高めるなどの青少年の健全育成が図れた。また、委託内容の見直しをして、今後も市どうしの交流を維持したまま効率的に交流事業を推進する。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			今後は事業の主体を財団に移行する方向性について検討を行うべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									